

## 小・中学校等の学校適正配置等に関するアンケート結果

### 【保護者・市民】

#### 【アンケート結果の見方】

- ・集計結果を表すグラフでは、数値の小数点第2位を四捨五入して表示しているため、表記上、内訳数値の合計が100%にならない場合があります。
- ・本文中の「n」は、設問に対する回答者数です。
- ・選択肢から複数回答が可能な設問は、回答者数に加え、選択された回答数の合計を「件数」で表しています。

#### 対象者等

回答者区分	対象者
小学校(義務教育学校)4年生の保護者	1,442
中学校1年生(義務教育学校7年生)の保護者	1,424
未就学児の保護者 1,000人(無作為抽出)	1,000
市民 2,000人(無作為抽出)	2,000
総計	5,866

※回答者数の総計は 2,139 件(ホームページからの回答を含む。)でした。

#### 回答者の属性

- お子様の学年等(複数選択可)。

お子様の学年	回答数
未就学児	752
小学校(義務教育学校)1年生	184
小学校(義務教育学校)2年生	192
小学校(義務教育学校)3年生	123
小学校(義務教育学校)4年生	785
小学校(義務教育学校)5年生	110
小学校(義務教育学校)6年生	108
中学校1年生(義務教育学校7年生)	576
中学校2年生(義務教育学校8年生)	98
中学校3年生(義務教育学校9年生)	108
いない	313
総計	3,349

●回答者の年齢

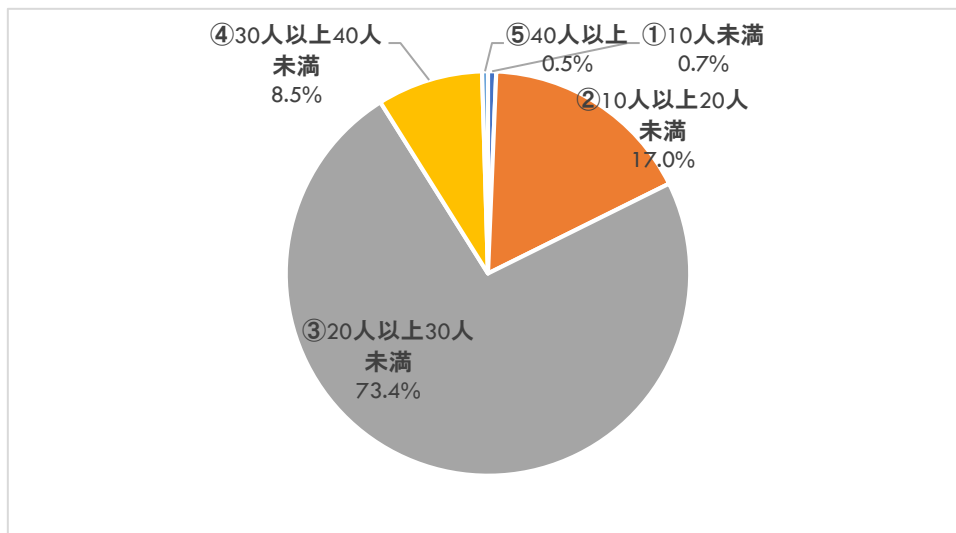
年代	回答者数
10代	3
20代	109
30代	779
40代	928
50代	203
60代	66
70代以上	51
総計	2,139

●居住している小学校区(義務教育学校区)

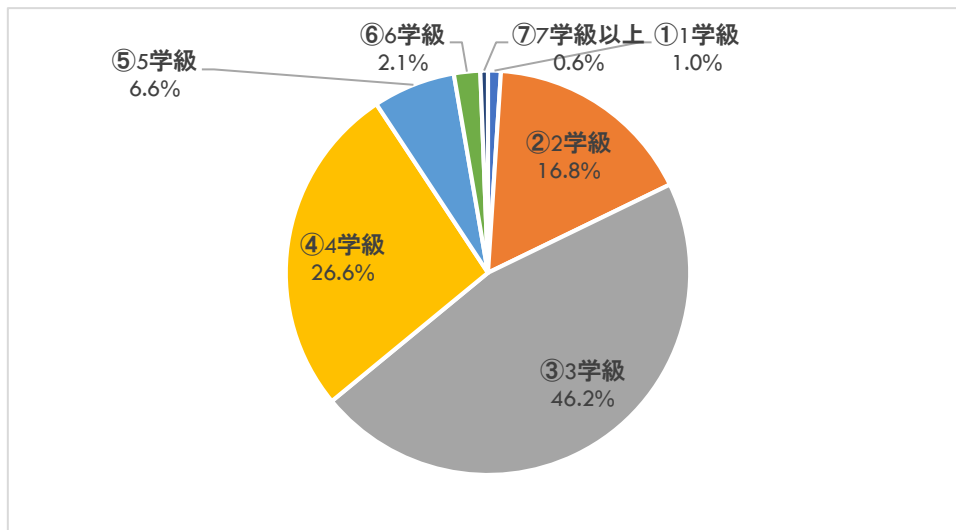
	居住している小学校区(義務教育学校区)	回答者数
1	小山第一小学区	99
2	小山第二小学区	57
3	小山第三小学区	53
4	小山城南小学区	152
5	旭小学区	114
6	小山城北小学区	94
7	若木小学区	61
8	東城南小学区	149
9	小山城東小学区	144
10	大谷東小学区	183
11	大谷南小学区	20
12	大谷北小学区	184
13	間々田小学区	121
14	乙女小学区	98
15	間々田東小学区	115
16	下生井小学区	9
17	網戸小学区	12
18	寒川小学区	20
19	豊田小学区	50
20	穂積小学区	24
21	中小小学区	23
22	羽川小学区	167
23	羽川西小学区	36
24	萱橋小学区	30
25	絹義務教育学区	47
26	わからない	53
27	該当なし(市外の小学校にお子さんが通学している場合)	24
	総計	2,139

### 小・中学校の学校規模について

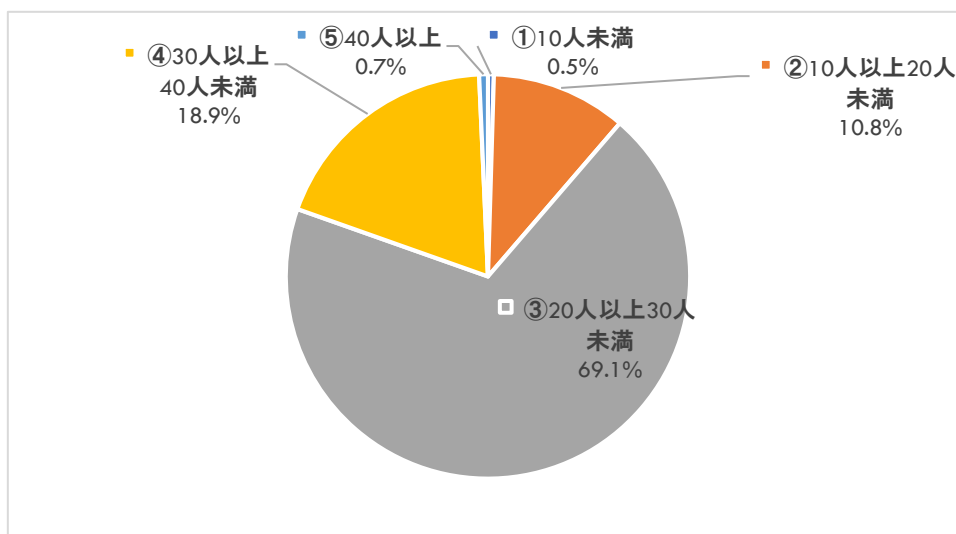
問4. 子どもたちのより良い教育環境等のために、小学校は、1学級あたり何人程度の規模が望ましいと思いますか。(n=2,139)



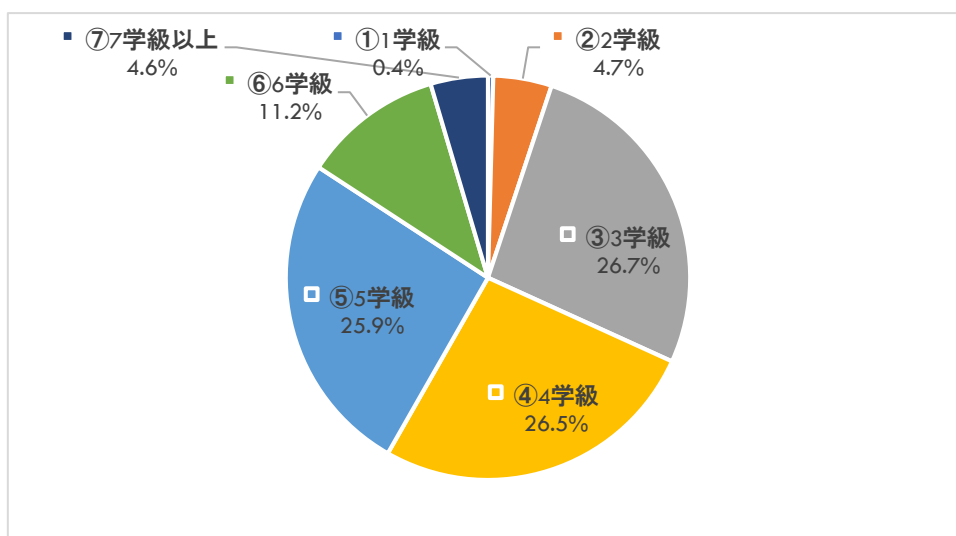
問5. 同様に小学校の学級数は、1学年あたり何学級程度の規模が望ましいと思いますか。(n=2,139)



問6. 子どもたちのより良い教育環境等のために、中学校(義務教育学校(後期課程)を含む。以下同じ。)は、1学級あたり何人程度の規模が望ましいと思いますか。(n=2,139)

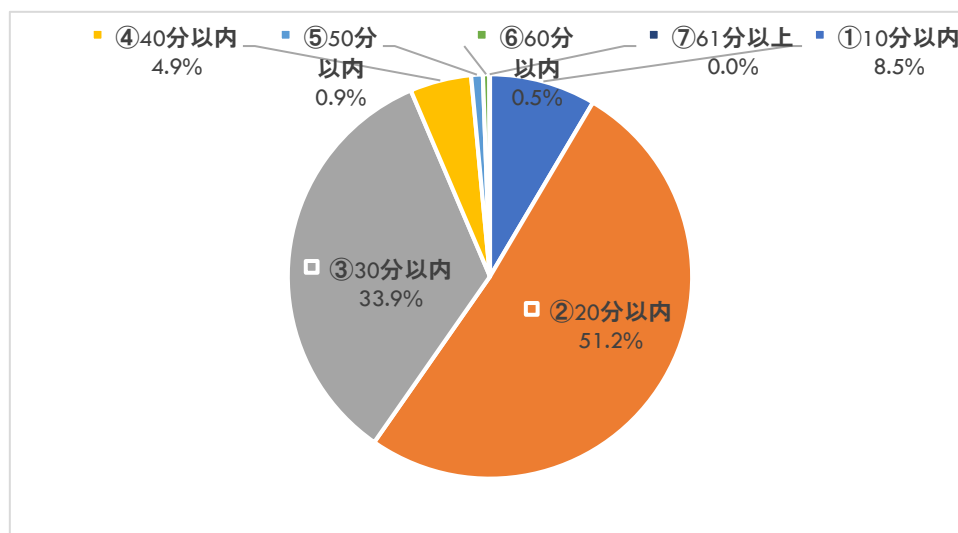


問7. 同様に中学校の学級数は、1学年あたり何学級程度の規模が望ましいと思いますか。(n=2,139)



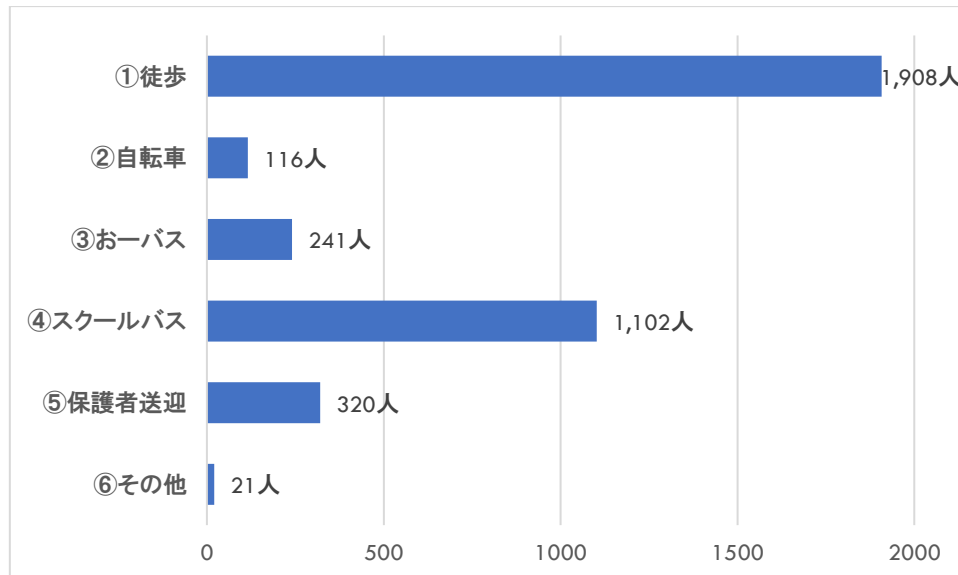
## 通学時間と通学方法について

問8. 小学生の片道の通学時間は、通学方法に関係なく、どのくらいまでが限度(最長)だと思いますか。(n=2,139)



問9. 小学生の通学方法としてどのような方法が適当だと思いますか。

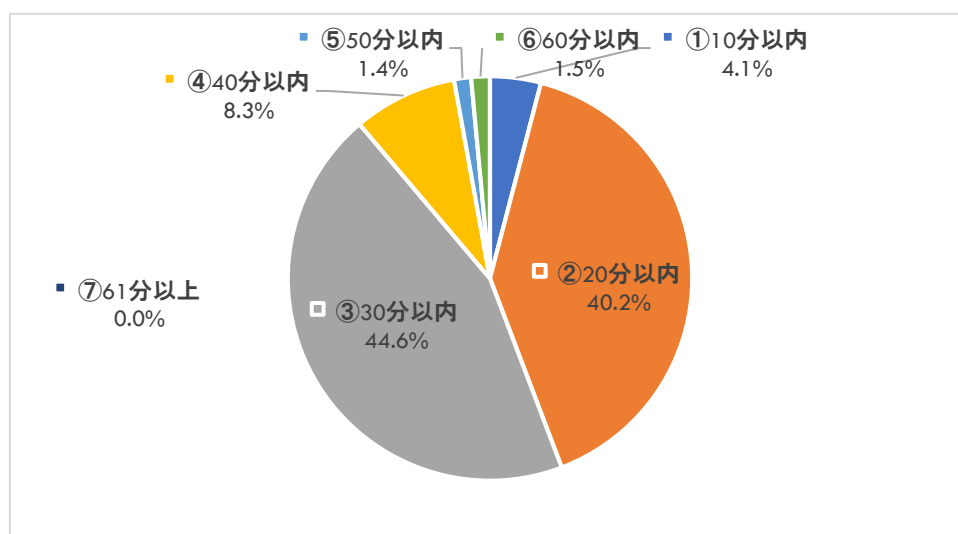
(複数選択可)(n=2,139(複数回答)3,708)



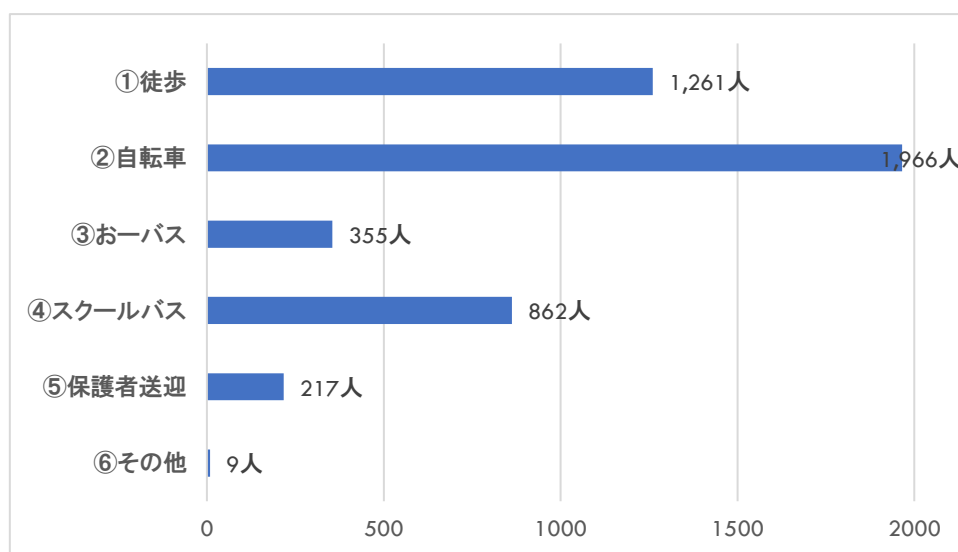
その他のご意見

- ・集団登下校
- ・ボランティアによる送迎
- ・距離や季節に応じてバス・送迎等を選択

問 10. 中学生の片道の通学時間は通学方法に関係なく、どのくらいまでが限度(最長)だと思いますか。(n=2,139)



問 11. 中学生の通学方法としてどのような方法が適当だと思いますか。  
(複数選択可)(n=2,139(複数回答)4,670)



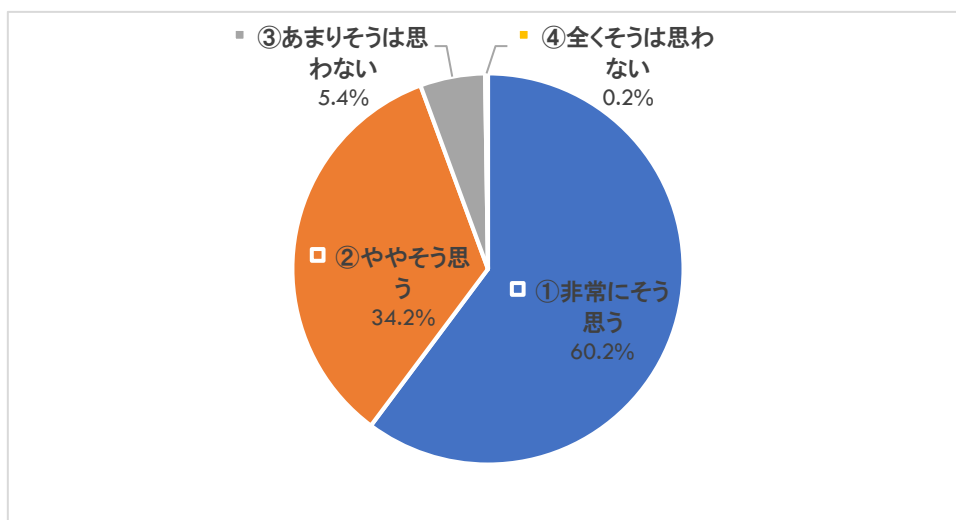
その他のご意見

- ・集団登下校
- ・ボランティアによる送迎
- ・電車
- ・猛暑日や天候等で臨機応変に対応

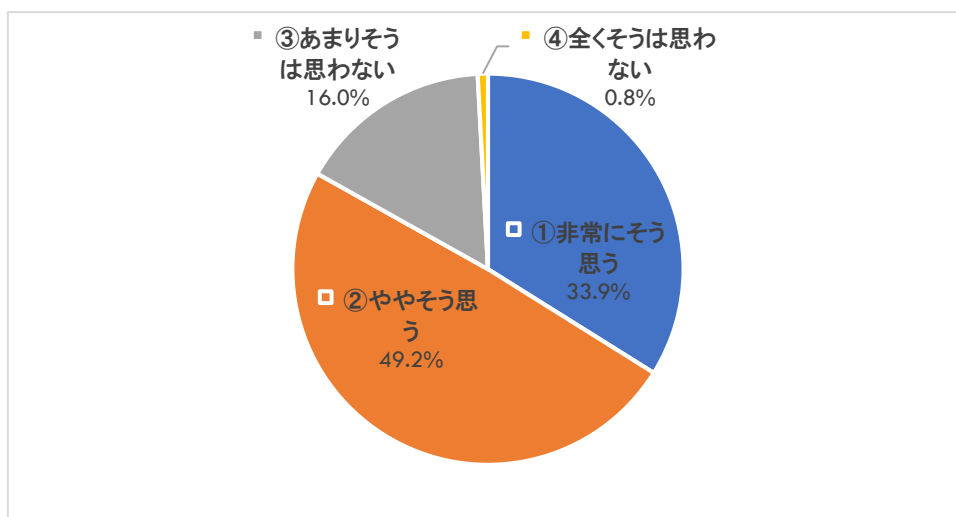
## 学校の小規模化について

問 12. 一般的に学校規模(1学級あたりの人数や1学年あたりの学級数)が小さくなると、以下のような影響が出ると言われていますが、あなたはどのように思いますか。(1)～(15)について、全てお答えください。(n=2,139)

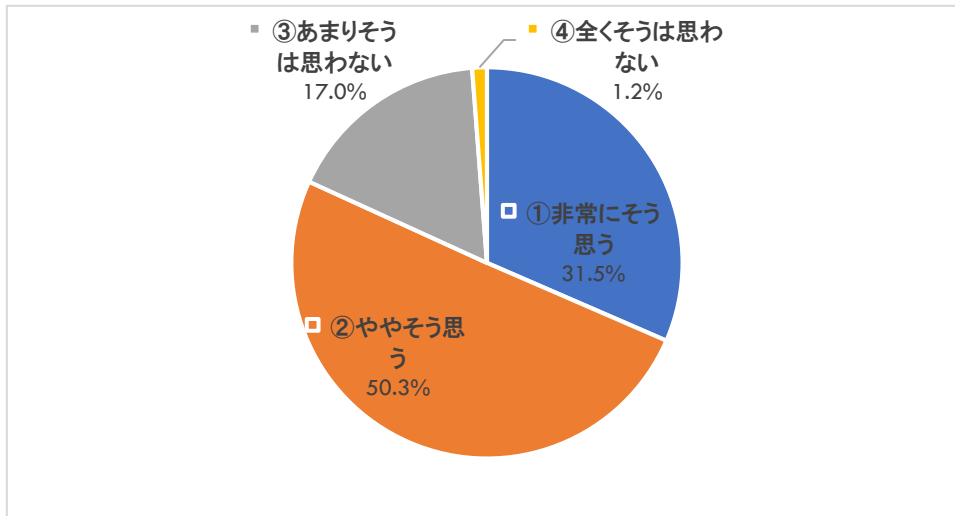
(1) 教員の目が届きやすく、一人ひとりにきめ細かな指導が行いやすい



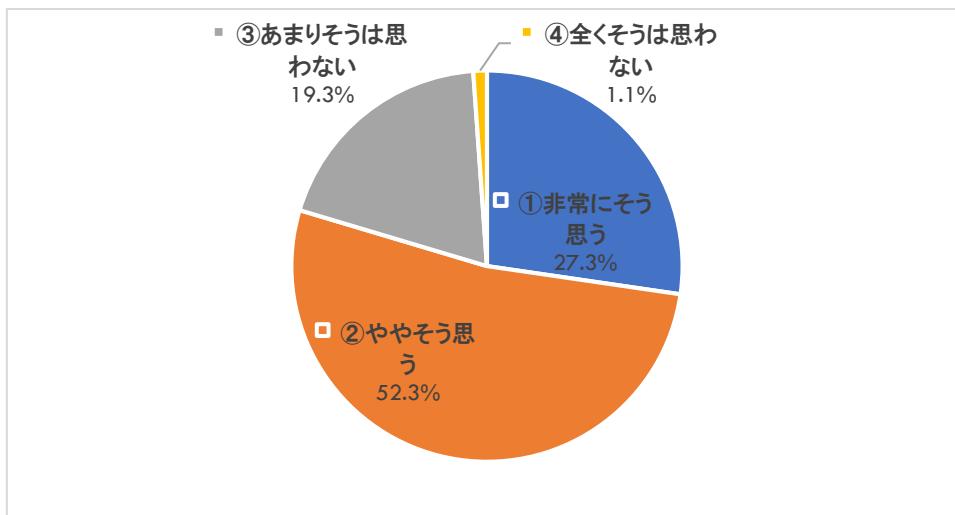
(2) 授業や学校行事等で発表や活躍ができる機会が多くなる



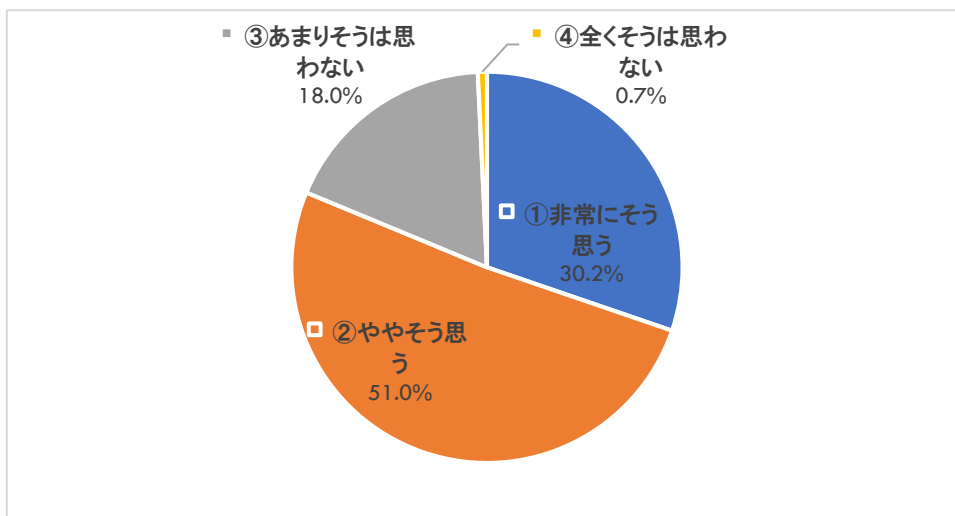
(3) 様々な活動において、一人ひとりがリーダーや役割を担う機会が多くなる



(4) 児童生徒相互の人間関係が深まりやすい

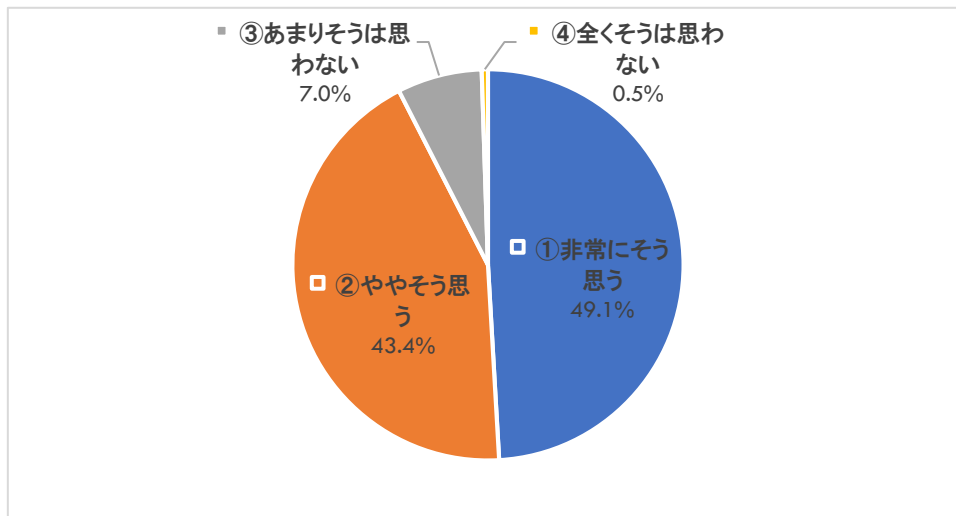


(5) 学年を超えた交流や学習活動が行いやすい

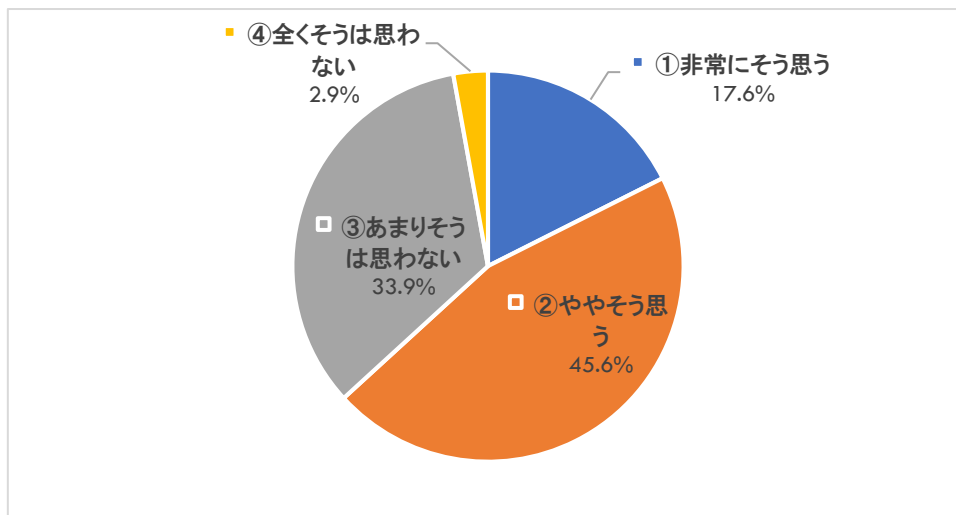




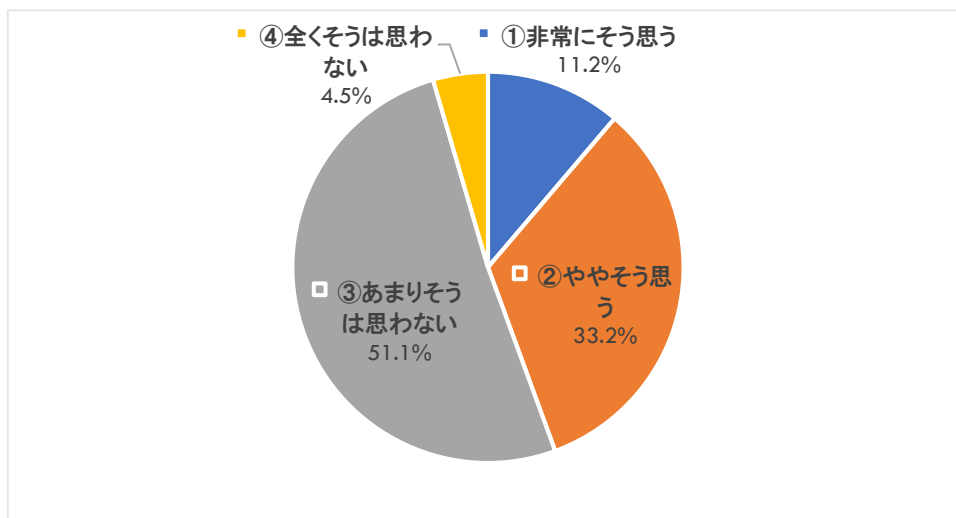
(6) 教材・体育館等について、余裕を持って使用できる



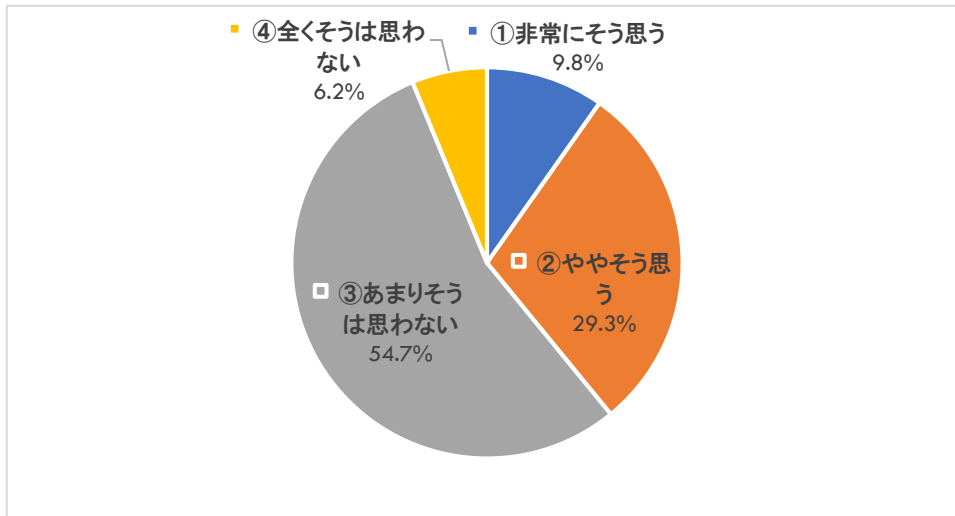
(7) 学校、地域、保護者が一体となった活動がしやすい



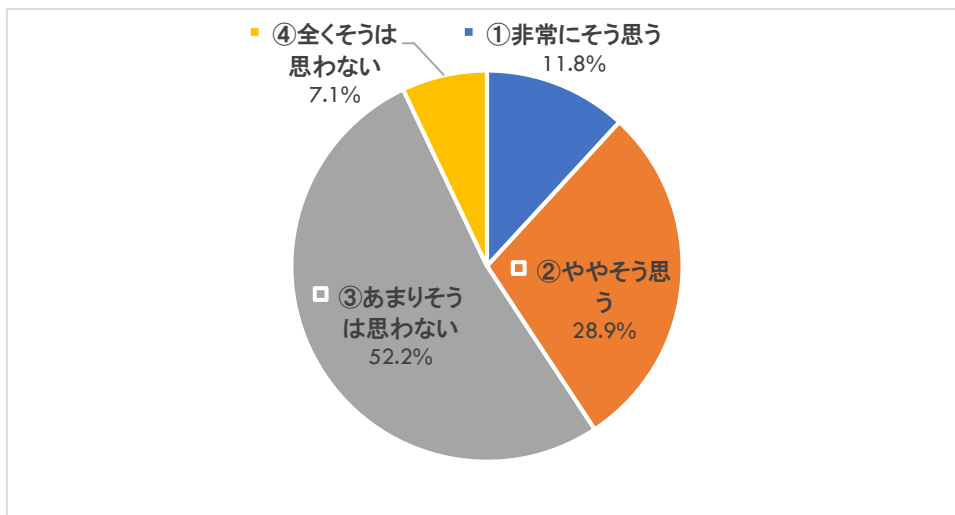
(8) 子ども同士が切磋琢磨する教育活動が難しい



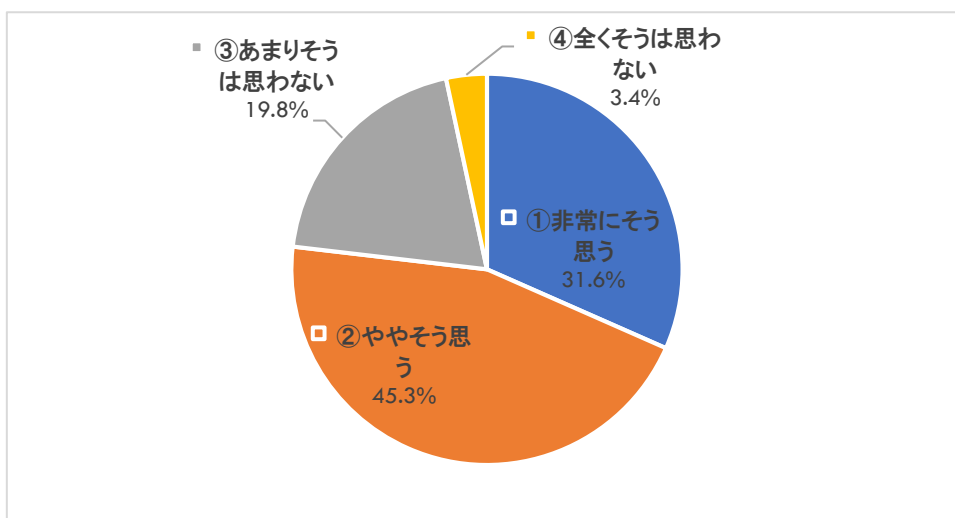
(9) グループ学習や習熟度別学習など、多様な学習・指導が行えない



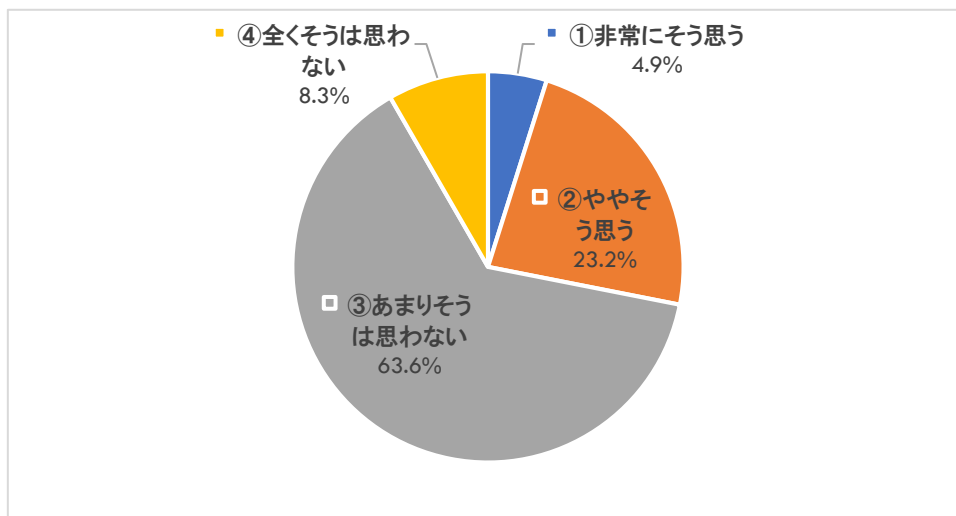
(10) 運動会等の集団活動における教育効果が上がりにくい



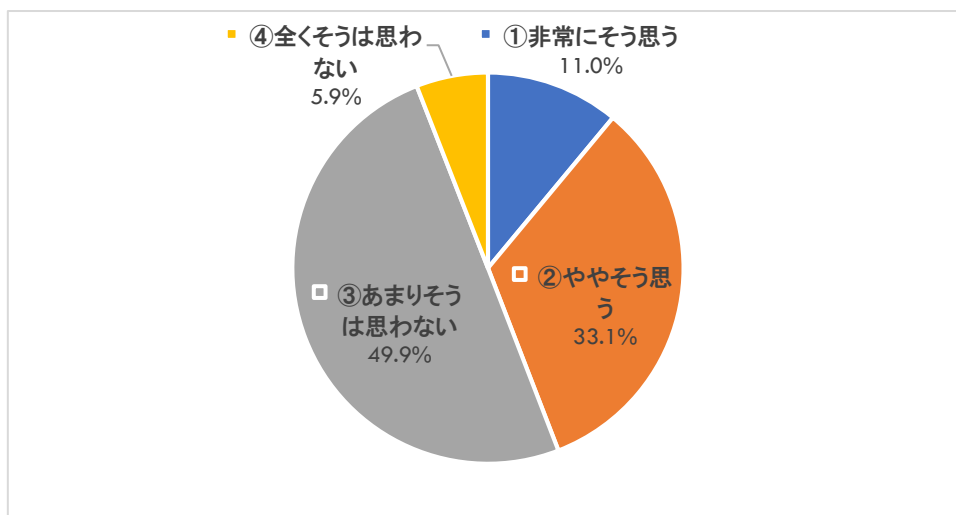
(11) クラブ活動や部活動の種類が限定される



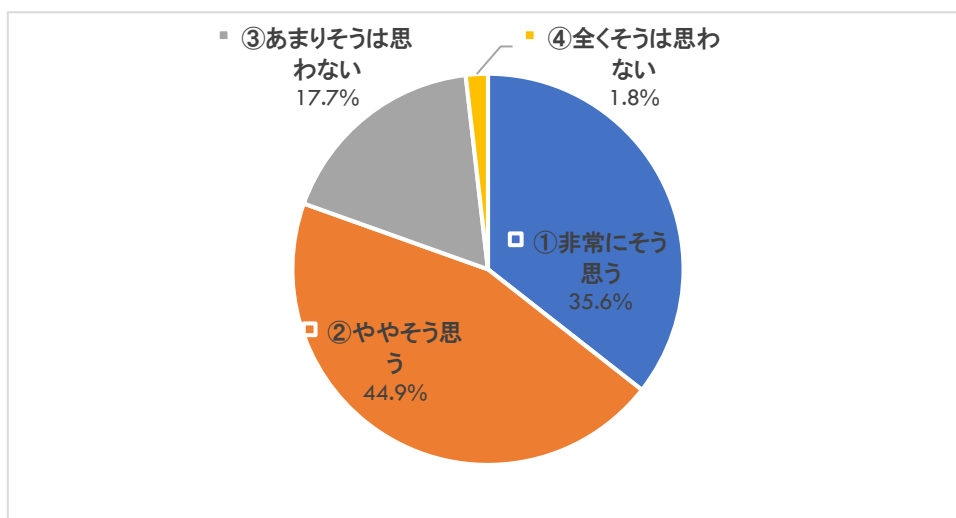
(12) 教員との距離が近く、頼りがちになる



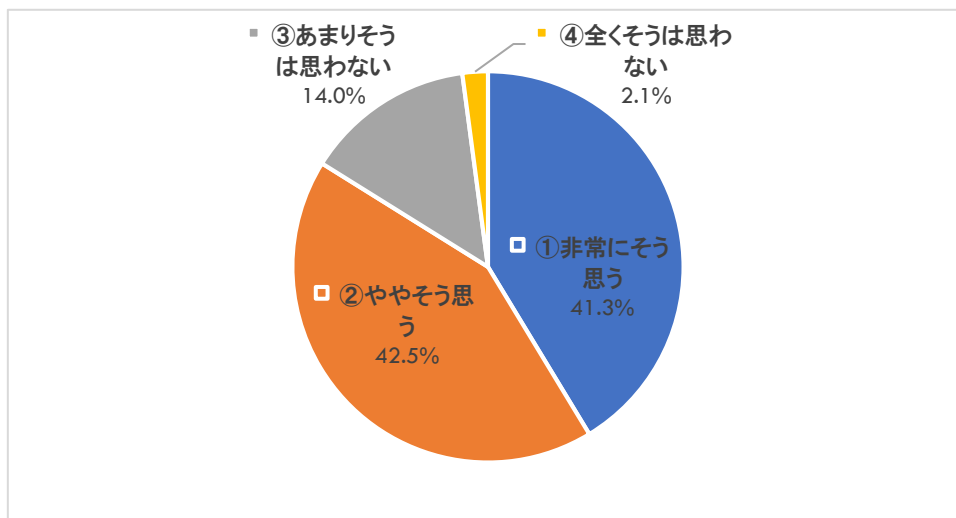
(13) 多様な考えに触れる機会が少なくなる



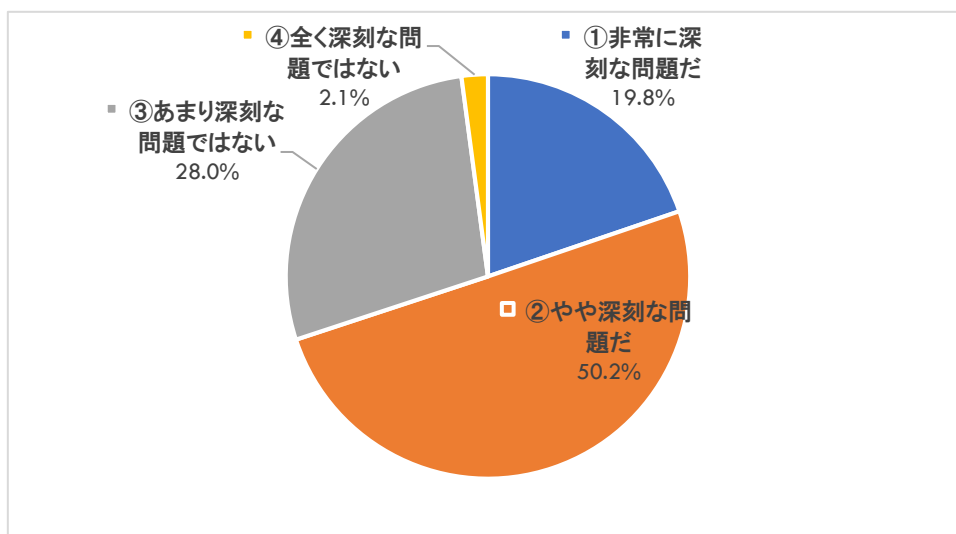
(14) クラス替えができないなど、人間関係が固定化しやすい



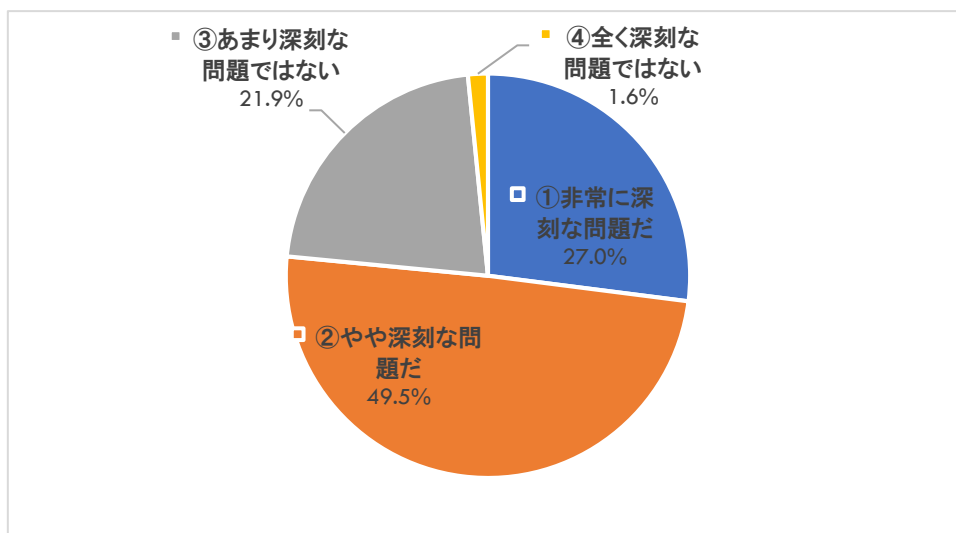
(15) PTA 活動等における保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい



問 13 規模の小さな学校が増え、学校の教育環境等に影響が出ることについて、あなたはどの程度深刻な問題だと思いますか。(n=2,139)



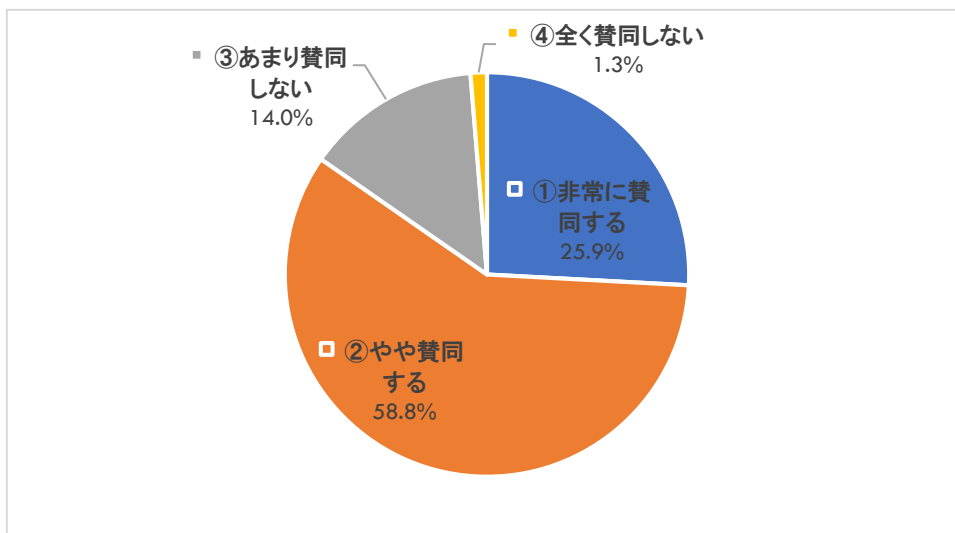
問 14 では、規模の小さな学校とそうでない学校との間で、教育環境等に差異が生じることについて、あなたはどの程度深刻な問題だと思いますか。(n=2,139)



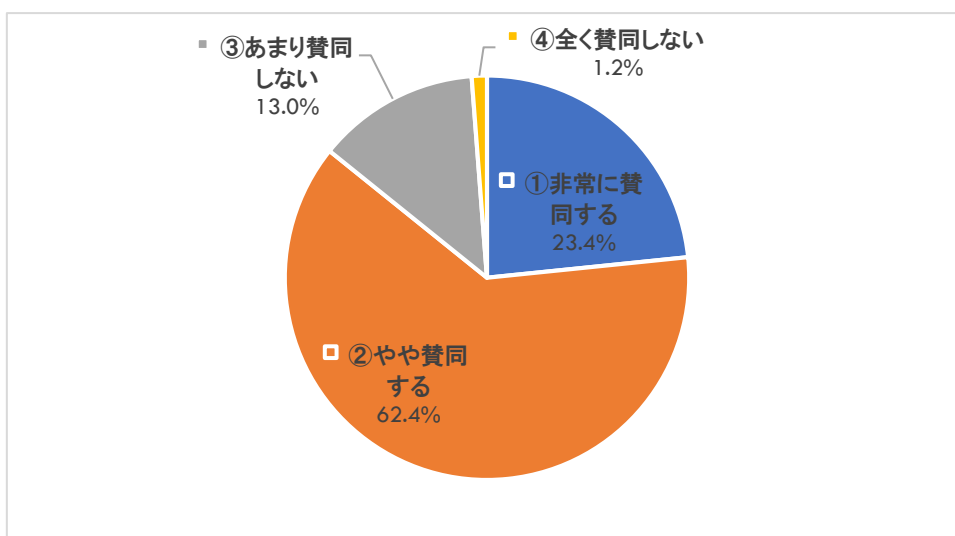
## 小規模特認校制度について

問 15. 「小規模特認校制度」の導入や継続に関する以下のことがらについて、あなたはどのように思いますか。(1)～(2)について、全てお答えください。(n=2,139)

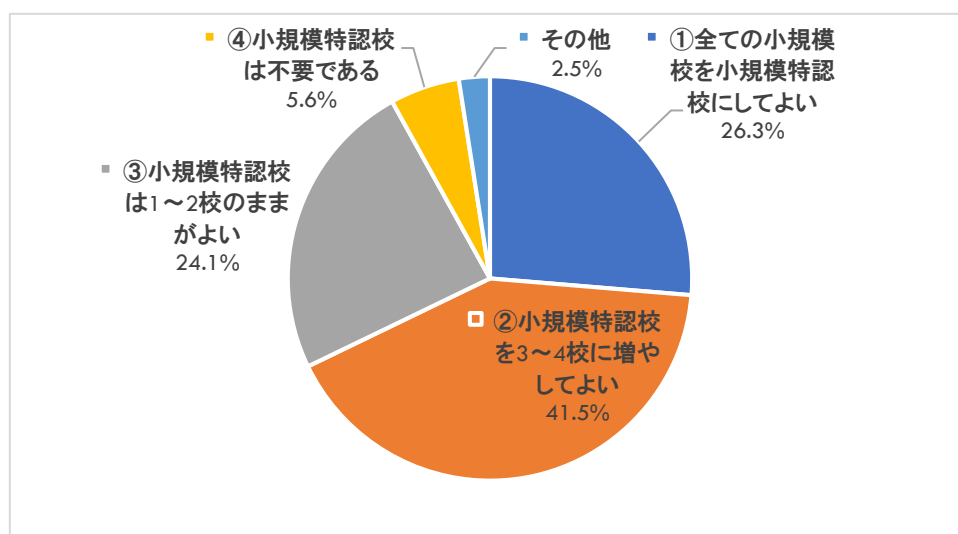
(1) 「複式学級の解消」という目的について



(2) 「少人数で特色ある教育の実施」という目的について



問 16. 問 15 を踏まえ、小規模特認校制度を導入する小学校(以下「小規模特認校」という。)の数について、あなたはどのように思いますか。(n=2,139)



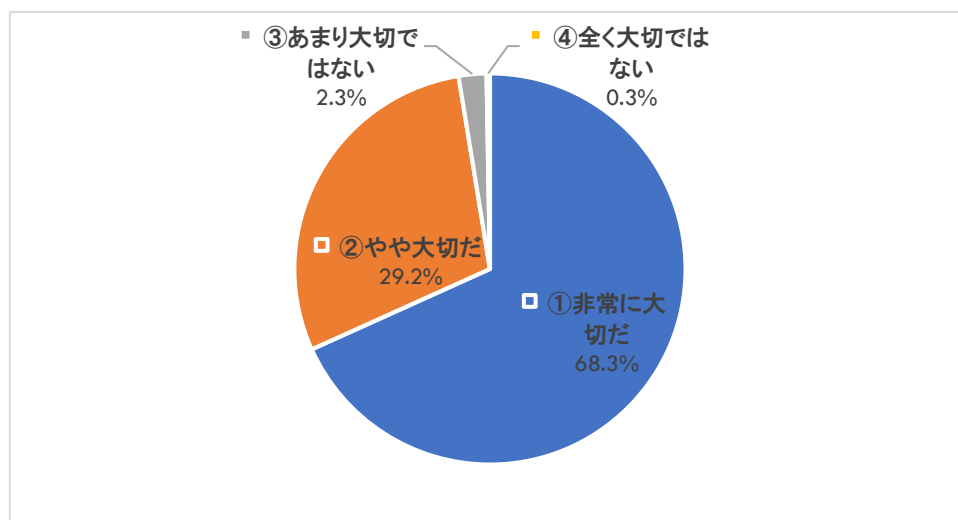
●その他のご意見

- ・小規模校が増えても、送迎問題が解消されなければ意味がない。
- ・数の問題ではなく、実情に即して決定されるべき。
- ・市の南に集中しているので、各地域に分散させたほうがよい。
- ・実際の状況を知らないなので、簡単には回答できない。

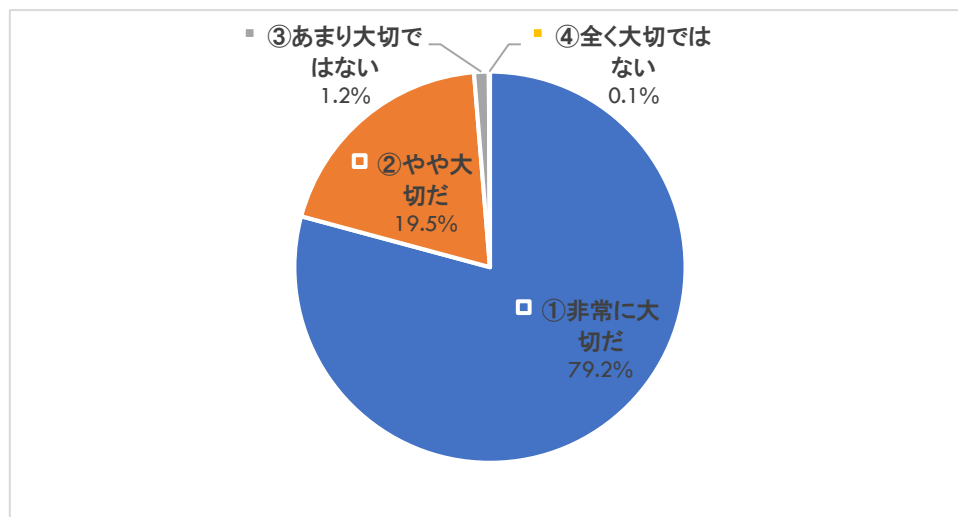
## 学校再編について

問 17. 子どもたちのより良い教育環境と教育の質の充実を図るため、学校再編(通学区域の見直しや変更、学校の統合や新設などを行うこと)を進める際に、以下のことがらについて、あなたはどの程度大切だと考えますか。(1)～(10)について、全てお答えください。(n=2,139)

### (1) 児童生徒及び保護者の意向を聞くこと

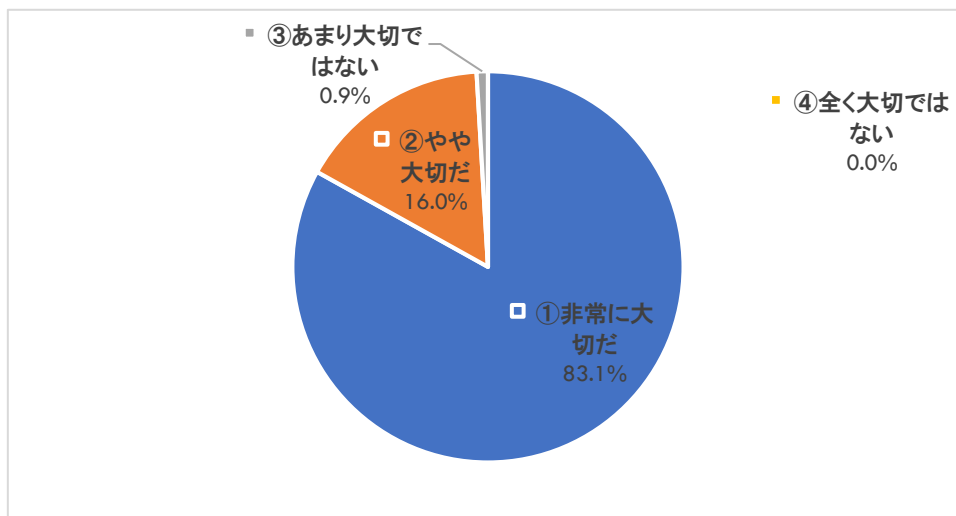


### (2) 児童生徒の心のケアを含む環境変化等に配慮すること

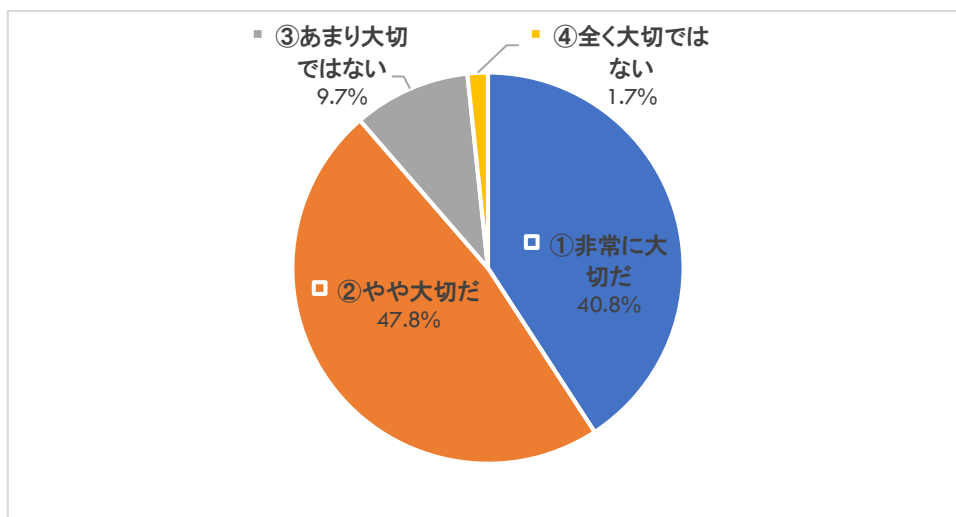




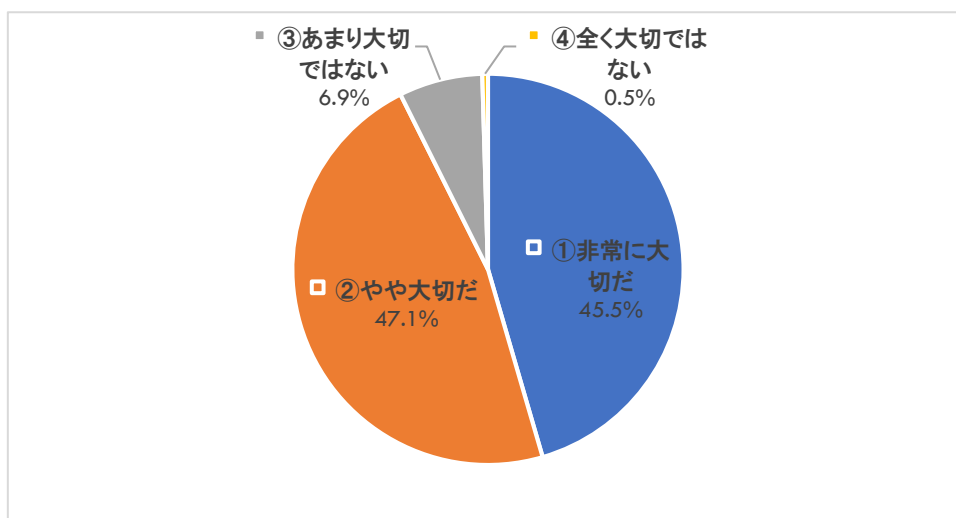
(3) 児童生徒の通学(時間・距離・方法・安全確保)に配慮すること



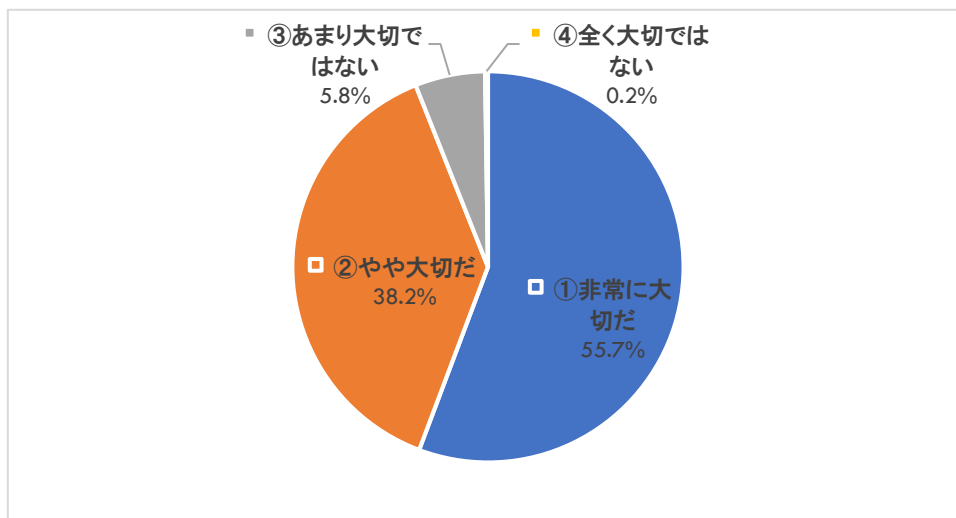
(4) 地域住民の意向を聞いたり、地域と学校の関わりに配慮すること



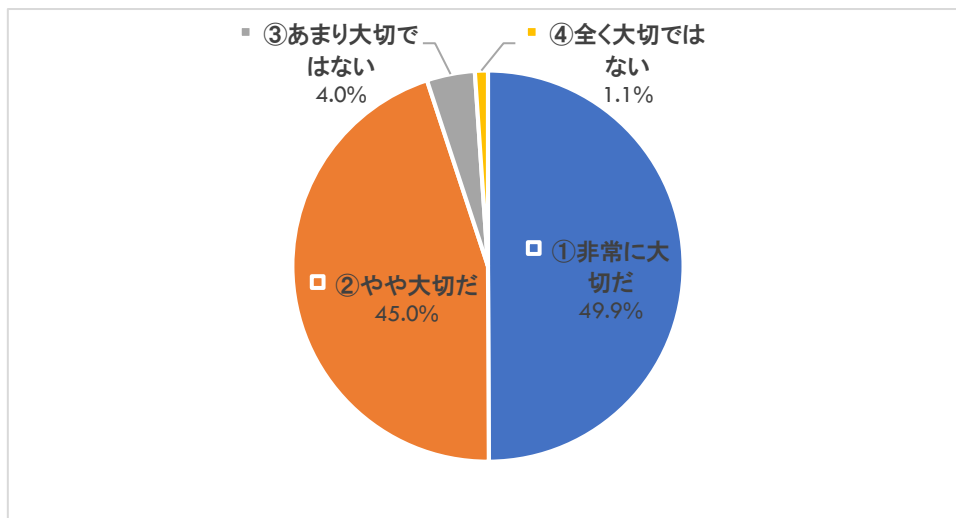
(5) 長期的な人口推計やその分析結果を考慮すること



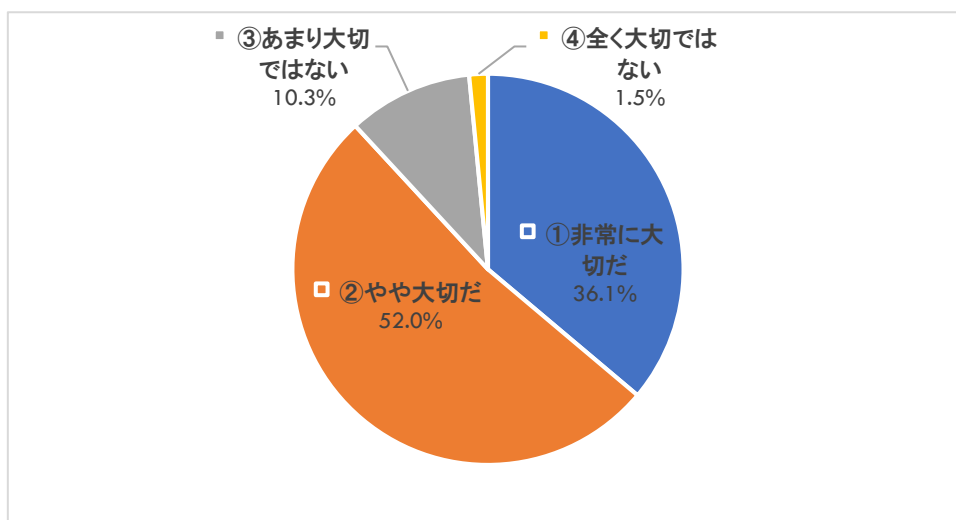
(6) 教育環境等の変化に合わせ、スピード感を持って取り組んでいくこと



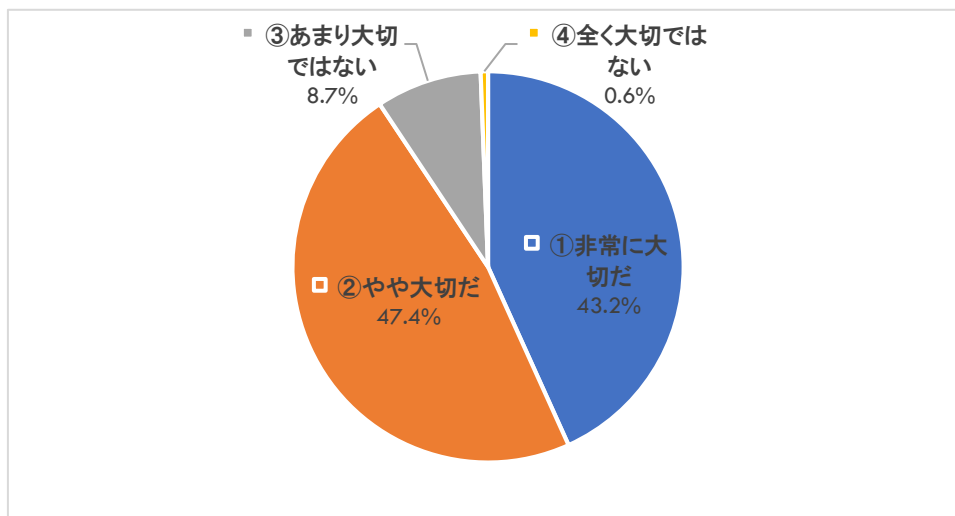
(7) 教育環境(施設を含む)の整備と財政負担のバランスを考慮すること



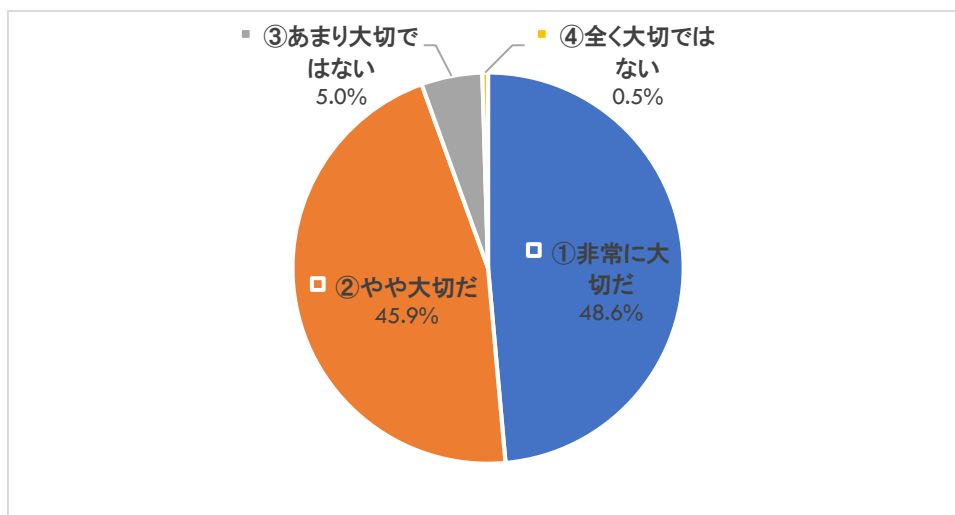
(8) 学校施設と他の公共施設との複合化や地域住民との共同利用等を検討すること



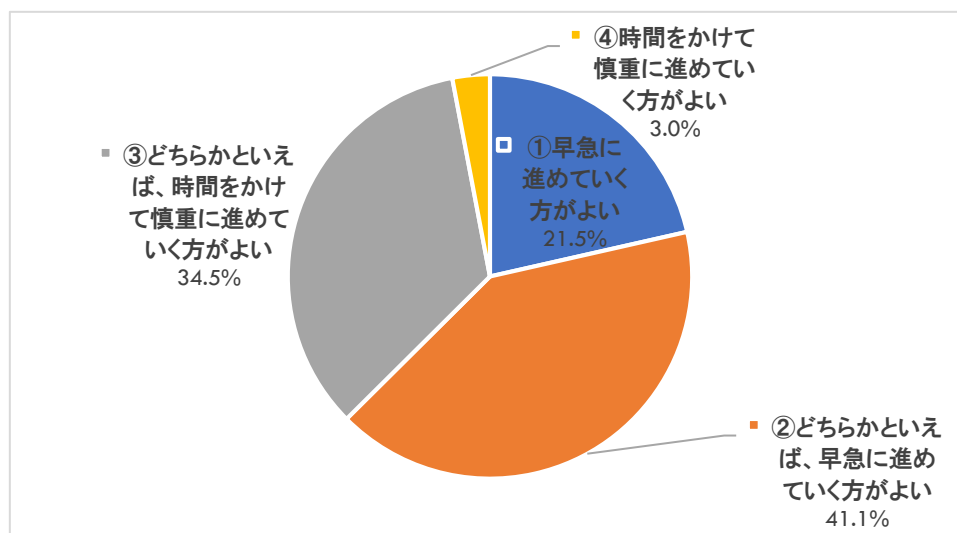
(9) 民間企業のノウハウや資金、様々なアイデア等を活用していくこと



(10) 将来的な学校のあり方を踏まえ、先進的、革新的な取組みの導入について検討すること



問 18. 問 17 を踏まえ、学校再編について、あなたは今後どのように進めていくことが望ましいと思いますか。早急に進めていく方が望ましいか、時間をかけて慎重に進めていく方が望ましいか、あなたの考えに近いものをお選びください。(n=2,139)



問 19 将来を見据えた小・中学校等のあり方、学校適正配置等について、ご意見等があればお書きください。(1000 字以内で記載してください)

【回答例】

●通学について

- ・ 人数の調整のために離れた小中学校へ通わせることは反対です。それをするならば送迎に関してスクールバスやバスを積極的に使いやすくするなど対応をとっていただきたいです。子供達が安心して通学できるよう配慮してほしいです。
- ・ 夏の気温上昇や、台風やゲリラ豪雨の増加など、従来どおり小学校が徒歩で通学することに対して過酷な環境になってきていると感じます。不審者や、車や自転車の交通マナーの悪さなどの危険要因もあり、通学方法に多様性があると保護者の安心感に繋がると思います。
- ・ 小学生が梅雨明けの暑い中、顔を真っ赤にして、汗をだらだらかいて下校しているのを見ると、学校が 30 分圏内の我が家でも熱中症にならないか心配になる。小さな学校は合併させて防犯の為にスクールバスの導入をしてほしい。
- ・ 1 番に大切なことは、子供たちの安全です。通学に 1 人で何十分もかけて歩く小さな子をよく見かけます。まずは不審者や交通事故から守っていける様、スクールバス導入も視野に入れていくべきと思います。

●学校再編について

- ・ 小規模の学校だけではなく、大規模の学校もまた違う問題を抱えていると思うので、難しい

とは思いますが、学校ごとの規模が少しでも平均化していけるようになればいいなと思っています。そのためには、学校の問題だけではなく、学校周辺の地域に子育て世代が住みやすいような環境を整えていくことも必要になってくると思います。

- ・ クラスに馴染めない児童にとって、少人数制の学校に転校するという選択肢があるのとないのとは違うと思う。その一方で大規模校で集団行動を学べる機会もとても大切だと思う。
- ・ 少子化が進むなか、学校の統廃合は避けては通れない問題かと思っています。同じ小山市内でも人口が増えている地域と減っている地域があるなか、単純に児童生徒数の少ない学校を減らすのではなく、通学距離や、現在行っている教育活動の内容等も考慮して検討いただきたいです。
- ・ 子どもたちが、伸び伸びと生活出来る環境が人を育てる意味で重要だと思います。嫌な学校環境だったと思う事がないようにしたい。小学校は無理して人数を多くする学級にすることは無いと思う。今までの観念を捨てる時期は来ていると思います。

#### ●学校の選択、学区について

- ・ 学区編成の都合で、近くに小学校があるのにもかかわらず、距離が遠い学校へ通わなければならない方も多いと思います。どちらかを選べる等の配慮があればより住みやすい小山市になり、若い人達の転入も増えるのではないかと思います。
- ・ 学校の規模は大小によってメリットデメリットはあります。それを踏まえた上で、児童や保護者が通学可能かどうかを判断し、行きたいと思う学校に通える制度改革を望みます。
- ・ 義務教育とはいつでも学校によって特色があると思う。通学方法の問題が出てくるが、理想をいえば自分で入学する学校を選んで通えた方がいいなと思う。

#### ●教職員について

- ・ 子どももちろんですが、教員の方の人員や労働環境の整備なども併せて検討、改善していただくことで、時間や心の余裕が生まれ、結果的に良質な教育環境になると考えます。
- ・ 質の高い教育を行うためには教員に余裕と希望があることが重要だと思います。そのためには教員を増やすか、教員意外の手を増やす必要があると思います。民間企業や地域の方、生成 AI の使用など、周りを巻き込んでいく、限られた環境の中だけで検討しない柔軟さが必要かと思っています。
- ・ 先生が無理なく子どもたちと向き合っていくことができ、子どもたちにとってより良い環境となることが第一だと思うので、それを優先的に考えながら取り組んでほしいと思う。
- ・ 子ども達のより良い教育のために、まずは、負担の大き過ぎる先生の働く環境を改善してほしいです。その結果、地域と一体化することが必要であれば、学校の規模や学区の範囲も考えられるのではないかと思います。

### ●学校施設・環境整備について

- ・ 今後、子どもの人数も減少していく中、教育環境を整備するためにも、安全性を考慮しつつ、校舎のリフォームや建替えも考えていかなければならないと思います。古い校舎だと、子どもたちだけでなく教職員も働きづらいと思います。学校の統廃合も視野に入れて、財政的にも負担にならない学校施設の管理を考えていきたいですね。
- ・ 老朽化が進んでいる学校で、これからも小学校としてあり続ける学校については、早急に校舎を新しくしていく必要があると思います。多数の学校が老朽化していく中、少しずつ何校も修繕していくより、学校数を減らし、新しい限られた学校数で運営していく方がいいのではないかと思います。

### ●児童、保護者について

- ・ 子供達にとって、一番大切な時期だと考えてます。子供ファーストをお願いします。
- ・ 地域の声も大切だが、当事者の子どもや保護者の声を第一に考えた方がよい。
- ・ 地域の意見(OB.OG 含)も重要かと思うが、実際に利用する、利用する見込みのある方の意見を重視していただきたい。
- ・ 環境の変化による子供のメンタルのフォローがとても重要だと思う。
- ・ 学校適正配置がどんな形であれ、子供達がどんな事を考えているのか、どんな事で悩んでいたりするのか、ささいな事でも発信できる場を設ける時間がある学校教育にしてほしいと思います。

### ●地域について

- ・ 時間をかけ地域の理解を得る必要があるのではないかと思います。
- ・ 統廃合等は欠かせないと思うし早いほうが良いとは思いますが、お子さんのケアだけでなく、母校がなくなる、地域の学校がなくなるのは大人の感情的な反発も招きかねないので、校舎が使えるなら心の拠り所や地域活性化になるような有効活用することを検討してほしい。
- ・ 地域連携は大切だと思います。また、地域によって意見の相違や CS などの立場が若干変わっていると思うので、定期的に各地域合同の意見交換を行えると良いと思います。

### ●小規模特認校制度について

- ・ 少人数校への通学が学区外だと現在通学ができず、住んでいる地域によって児童数の差が非常に大きい。小山市に相談に行ったが小規模特認校の二校しかなく近くに小規模校があるのに通学が許されないという点が非常に残念に感じております。今後は少人数を望む場合は学区外で通学できるようになることを希望。
- ・ 多様な子どもたちに対応するためにも、小規模特認校は必要だと思います。地域とともに特色ある学校教育を行うことで魅力ある学校になるのではないかと考えます。
- ・

## ●その他

- ・ 時間をかけて…は、結局は次の人お願いになってしまいます。今考えるべきことは考え行動に移し、違っていれば次の世代の人が変えていくと思います。時代は刻々と変わっています。それも早いスピードで、良き古き伝統もあるが、これが足枷にもなります。これからの子供達が社会に出て行くための教育ですので、現在の最良の考えを取り入れる量を増やしていくのは、間違いではないと思います。
- ・ 小学校、中学校が充実すれば長期的に見て、小山市の人口増加や歳入増加など全ての市民が恩恵を受けるので、ぜひ投資を惜しんで欲しくない。
- ・ なかなか難しいとは思いますが、「一度やってみよう、駄目だったらもう一度考え直そう」と変更したのもまた戻せるくらいの柔軟な取り組みができるといいですね。
- ・ 川沿いの学校など危険なので、立地も考慮してもらいたい。
- ・ 小山市が全国の先駆けとなって民間と連携した取り組みを積極的に行えたらいいと思う。子供たちにとって良い影響である事は躊躇せず取り入れるべきだと思う。期待しています。
- ・ 限られる教員のリソース集約という点も考慮し、学校を極力集約化し、さらに他の公共施設との複合化に力を入れるべきと考えます。
- ・ 小規模校はあってもいいと思います。人口減少の中で小規模校が増えていくのは当然の流れ。小規模でもオンラインで他校と同時に授業をしたり(他校の生徒の発言を聞いたりできる環境作り)、小規模校のマイナスの部分のカバーできる仕組み作りはできるのでは、と思います。校内をゆったり使用できたり、先生の目が行き届く環境を重視したほうが良いと思います。
- ・ 学校へ通学しなくとも家でオンライン授業が受けられる選択肢があってもよいのではないかと。オンライン授業の導入によって何らかの事情で学校へ行くことが困難な生徒が、同年代の子たちと同じような学習が家でもできること。また生徒数が少ない地域ではオンライン授業か、通学を希望する生徒はスクールバスで学校へ行くことを選択ができる。そしてたくさんの方の先生を確保しなくてもいいことにも繋がるのではないかと。と思う。